

日本医師会女性医師支援センター事業 北海道・東北ブロック会議



岩手県医師会の取り組みについて

平成30年10月20日

岩手県医師会常任理事

増田 友之

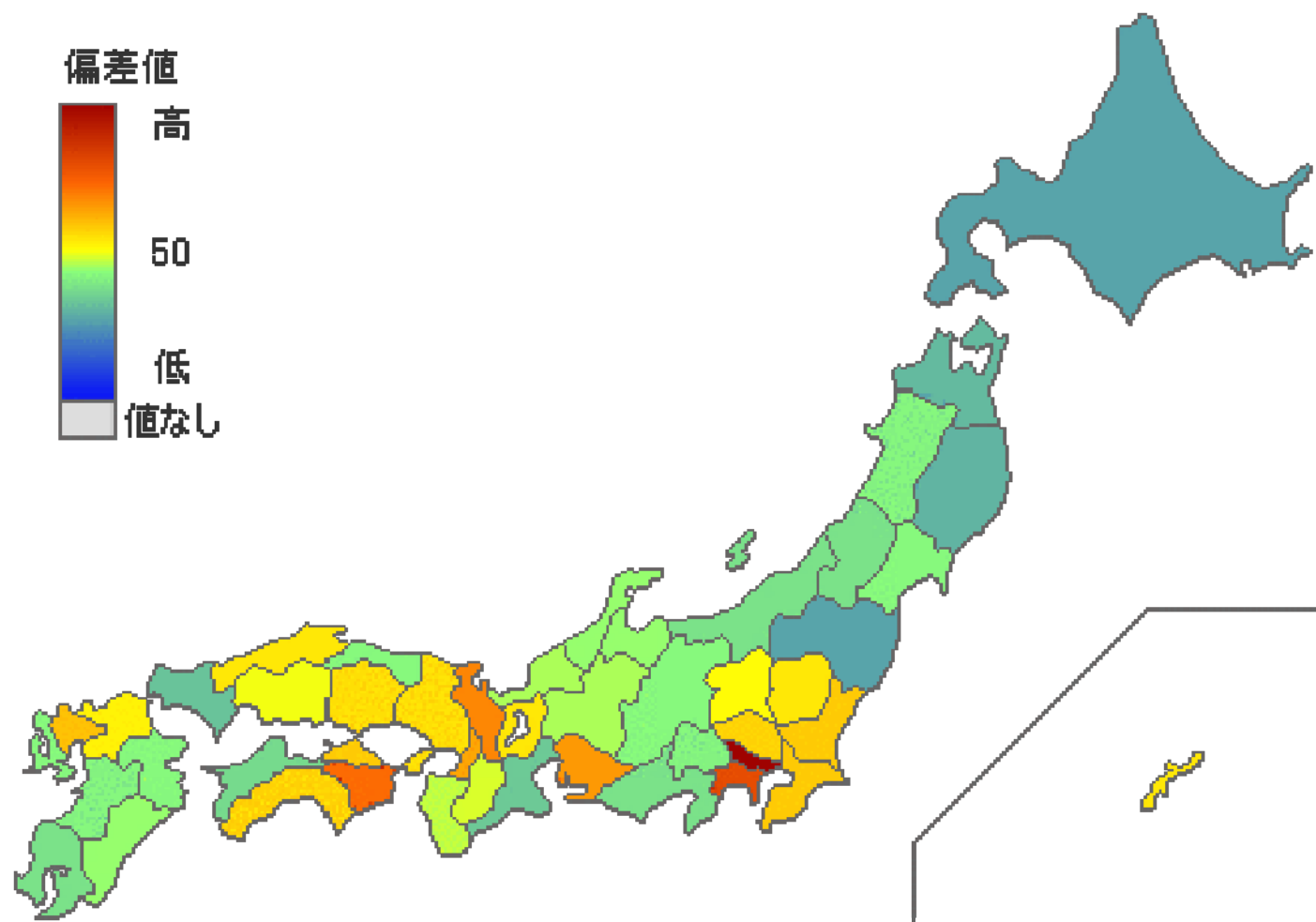
contents

Section 1 . 岩手県医師会女性医部会について

Section 2 . 平成29年度活動報告について

Section 3 . 今後の展望について

女性医師比率 2014年



1. 岩手県医師会女性医部会について

◆目的

- 女性の視点から問題を捉え、会員相互の親睦、情報交換、福祉増進を図ることを目的として平成13年度に女性医部会を設置

◆構成

- 岩手県医師会の女性会員を以って構成する
⇒325名（平成30年3月31日現在）

◆部会役員

- 郡市医師会毎に1名（女性に限らない）、県医師会長が推薦する者若干名
⇒部会長1名、副部会長3名、幹事15名 計19名（男性4名）

◆担当常任理事・理事

- 増田 友之（岩手医科大学病理学講座 教授/岩手県医師会勤務医部会 副部会長）
- 宮田 剛（岩手県立中央病院 病院長/岩手県医師会勤務医部会 部会長）
- 伊藤 智範（岩手医科大学医学教育学講座 教授/岩手県医師会勤務医部会 幹事）



岩手県医師会勤務医部会と連携して事業を推進している

1. 岩手県医師会女性医部会について

岩手県女性医師会員数の推移

年度	会員数	女性医師会員数	女性医師の割合
H20.4.1	2,178名	253名	11.6%
H21.4.1	2,210名	265名	12.0%
H22.4.1	2,263名	279名	12.3%
H23.4.1	2,258名	285名	12.6%
H24.4.1	2,250名	296名	13.2%
H25.4.1	2,224名	298名	13.4%
H26.4.1	2,255名	321名	14.2%
H27.4.1	2,242名	326名	14.5%
H28.4.1	2,271名	331名	14.6%
H29.4.1	2,253名	321名	14.2%
H30.4.1	2,236名	325名	14.5%

10
年
間
で
72
名
の
増
加

H30年度 本県の臨床研修医75名のうち女性医師は22名（29%）
研修医75名全員が岩手県医師会に入会（H20年度より研修医会費無料）

研修終了後に他県に就職などを理由に約半数が退会していることが課題

1. 岩手県医師会女性医部会について

郡市別女性医師会員数

各郡市医師会	A会員	B会員	C会員	小計	参考：臨床研修施設
盛岡市	22名	66名	8名	96名	県立中央病院・盛岡赤十字病院
岩手西北	3名	6名	－	9名	
紫波郡	－	6名	－	6名	
花巻市	2名	5名	－	7名	
北上	6名	9名	8名	23名	県立中部病院・北上済生会病院
奥州	4名	14名	3名	21名	県立胆沢病院
一関市	－	11名	－	11名	県立磐井病院
気仙	1名	2名	3名	6名	県立大船渡病院
釜石	－	2名	－	2名	県立釜石病院
宮古	－	8名	－	8名	県立宮古病院
遠野	2名	2名	－	4名	
久慈	－	4名	1名	5名	県立久慈病院
二戸	1名	5名	2名	8名	県立二戸病院
岩手医科大学	－	43名	76名	119名	岩手医科大学附属病院
合計	41名	183名	101名	325名	

※参考

A会員

■開業医

■私立病院長又は開設者

B会員

■勤務医

■自宅会員

■岩手医科大学

理事長・学長・副学長・教授・

准教授・講師・助教

C会員

■臨床研修医

■岩手医科大学

任期付助教・大学院生・専門研修医・

研究員・非常勤講師・非常勤医師

現状

女性医師においても、医師の偏在が顕著

女性の臨床研修医がいない病院もある。

平成28年に厚生労働省が実施した
医師・歯科医師・薬剤師調査によると、
女性医師全体の67%が病院勤務者

本会女性医師の約87.4%は病院等に勤務
(行政機関等に勤務や自宅会員も含む)

2. 平成29年度活動報告について

- ①第16回
岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学医学生との懇談会
- ②女性医師が大きく羽ばたける勤務環境を目指す会
- ③平成29年度岩手県医師会女性医部会総会
- ④平成29年度
「女性医師就業支援事業運営協議会」
- ⑤岩手県医師会と岩手県との協議会

2. 平成29年度活動報告について

①第16回岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学医学生との懇談会 【平成29年9月26日】

⇒「平成29年度医学生、研修医等をサポートするための会」に
申請し、日本医師会と共催
岩手医科大学の学生が男女共同参画やワークライフバランスを学ぶ

テーマ

学生時代から医師としてのキャリアプランを考える
－上司から将来を担う医学生に伝えたい男女共同参画－をテーマ

I. 「女性医師が大きく羽ばたける勤務環境の改善を目指して」岩手県医師会と県立病院等が行っている支援制度等を岩手県医師会勤務医部会 望月泉部会長（当時）から発表

II. 「Win-Win-WinをWLBを実現するために～病院経営の立場から～」多職種連携を踏まえ看護職の立場からワークライフバランス等について岩手医科大学看護学部 秋山智弥特任教授から発表



2. 平成29年度活動報告について

②女性医師が大きく羽ばたける勤務環境を目指す会

【平成29年11月4日】

報告(1)平成29年度医学生、研修医等をサポートするための会
第16回岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学医学生との懇談会
アンケート結果について

ディスカッション

(1)日本医師会女性医師バンクについて

(2)女性医師就業支援事業について



2. 平成29年度活動報告について

③ 平成29年度岩手県医師会女性医部会総会【平成30年3月10日】

⇒ 「多様な医師の働き方」と題して、

吉川香廉先生（盛岡少年刑務所医務課）、 柗屋美緒先生（普代村国民健康保険診療所）、
折居麻綾先生（あかしあ脳神経外科院長・東京都小平市）より自身の経験を踏まえた
講演を頂いた。

その後、「多様な医師の働き方」をテーマにディスカッションが行われ、
岩手医科大学医学部・薬学部の学生から質問があり活発な意見交換が行われた。



2. 平成29年度活動報告について

④ 平成29年度

「女性医師就業支援事業運営協議会」【平成30年3月27日】

⇒ 県の委託事業「女性医師就業支援事業」について検討を行う。

■ 岩手県医療政策室に要望していた育児支援をコーディネートする相談員の設置については予算措置はされていないが、委託事業要領に設置に向け明記した旨について県担当者から説明があった。事業実績は概ね理解できる範囲だが、利用者数が少数なため更にPRに工夫が求められた。

育児支援



育児サポートのご紹介

たとえば…



仕事と子育てを
両立させたい…



不規則な勤務時間に対応
できる保育施設がない

こんなとき、ご活用ください。

臨時・緊急時

宿泊、急患、学会出席など

夜間・早朝

保育

利用者の自宅
または
サポーターの自宅

日中

保育

利用者の自宅
または
サポーターの自宅

朝・夕

送迎

保育施設への
送迎

日常

利用する曜日が決まっている場合
利用する曜日が別によって異なる場合

日中

保育

利用者の自宅
または
サポーターの自宅

朝・夕

送迎

保育施設への
送迎

復帰研修



復帰のための
研修先のご紹介

たとえば…



離職中のブランクがあるが
仕事に復帰したい…



復帰のための技術や知識を
学ぶ機会がない

こんなとき、ご活用ください。

離職時、専門を持ち勤務経験のある医師等

専門研修

希望する診療科における
臨床研修

《研修期間》1ヶ月～1年(原則)

研修終了直後、離職した医師等

総合研修

関係各科をローテーションする
一般的な臨床研修

《研修期間》1ヶ月～1年(原則)

総合研修

関係各科をローテーションする
一般的な臨床研修

専門研修

希望する診療科における臨床研修

《研修期間》1ヶ月～1年(原則)

平成29年度の報告最後に・・・

⑤岩手県医師会と岩手県との協議会【平成29年10月27日】

⇒「女性医師就業支援事業の継続のお願い」として、同事業について専従のコーディネーターを配置することを検討している旨、県に報告いたしました。



〈県からの回答〉

県としては、限られた財源の中で効果的な支援が継続的に行えるよう、医師会の意見を踏まえ、より連携を密にして必要な見直しと事業内容の充実に努めていきたいと考えている。

3. 今後の展望について

女性医師は今後増加の一途をたどる見込みであることから、医師会への加入を促進し、組織力を強化すること、また、より有意的な支援が必要と考えている。

当会女性医部会幹事の意見になりますが
離職した、または離職を考えている女性医師がパートタイム等で
上手く働ける仕組みが必要。

日本医師会女性医師バンクの都道府県医師会専用ページを活用し、
検討していきたい。

ご静聴ありがとうございました

• • • to be continued

